にしく市民活動支援センター

にしとも広場

2021 年度　事業報告

管理運営：認定特定非営利活動法人市民セクターよこはま

2021 年度運営方針と成果

約 2 年続いている新型コロナウイルス感染症に、社会が大きく影響を受けました。思うように活動ができない状況がある一方、新しい生活様式やオンラインの活用も広がり、これまでなかったつながり方や出会いが生まれました。昨年に引き続き、オンラインの活用を含め、つながりを保つ＆つながりを生むことが大事と考え、2021 年度は「今だからこそ“つながりづくり”」をテーマとしました。区民が主体的・積極的に参加する機会を創出し、停滞していた様々な活動が活性化するよう、また、新しく生まれるよう、積極的に働きかけ、事業を進めました。

●日頃のつながり、身近なつながりを考える機会として、講座を開催したり、情報発信を工夫しました。

・地域仲間、住んでいるまちでの活動、といった視点をテーマとし、講座を開催しました。自分にとって必要な「つながり」の具体的姿を描く機会となりました。

・情報紙のテーマに「つながり」を反映するとともに、掲載される方々同士、また読者ともつながる場を設定しました。直接出会い、話すことで、いくつもの多様なつながりが生まれ、活動の広がりを見せていました。

●活動者・団体相互の対話の場づくりを行い、活動の活性化を促しました。

・興味ある者同士、その回のテーマに沿って、ゆるやかに自由に話ができる場を設け、つながりづくりのきっかけとしました。それまで知らなかったその方の興味や活躍の一面を知り、仲間となるよい機会となっていました。テーマは、活動者・団体の意向や利用者の声を反映したものとし、テーマをきっかけに活動の新たな仲間や広がりが生まれることもありました。

・活動者・団体の交流会の回数を増やし、年 3 回実施しました。昨年度のアンケート結果を反映したテーマ設定をし、学びつつ交流できる場としました。年度末の大交流会では、登録者のほか地域大修了生なども対象とし、相互に知り合い、つながりが生まれる場となりました。

●施設等と連携し、オンラインツールを活かした新たな参加の機会をつくりました。

・オンライン環境が整った自治会や施設と連携し、講座をサテライトで実施しました。にしとも広場に来るのが難しい地域の方にも、身近な場所で講座に参加していただくことができました。

・自治会館を会場とする場合は、現地でのオンライン環境等の設定も支援しました。

事業ごとの報告

1．相談事業

◆ 相談機能の充実と日頃の会話から相談につなぐ

相談の基本を大切にし、誠実に一人ひとりと向き合い、その方の真のニーズを引き出す力、課題に向き合う力を日々の実践や研修で高め、職員の相談力向上を目指しました。また、地域の施設や関係機関と連携を深め、ニーズに即した情報の提供を目指しました。特に今年度は今までの生活が困難な状況にあり、出会いの場も少なくなっていることから、利用される方々との会話にも気持ちの共有ができるようなコミュニケーションを心がけました。

1）相談機能の充実

- 活動団体、地域、個人からの様々な相談は、「関わりシート」や Slack に記載し、職員間で共有・検討し、継続的な対応を行いました。
- 必要に応じて関係機関や施設等と連携を取り、相談者にとってより良い支援になるよう心掛けました。
- 「はじめの一歩じっくり相談日」「団体運営なんでも相談日」等テーマごとの相談日を設け、相談しやすい環境を整えました。

2）相談力の向上のための取組の実施

- 職員全員で行う会議において定期的に、最近 1 か月で行った相談対応の中の気になる事例をピックアップして情報を共有し、よりよい対応につながるよう内容を検討しました。
- 職員研修として、相談対応における基本の再確認と、相談者の思いを受け止め、相談者ご自身が活動を進めていける支援について学びあい、相談対応のブラッシュアップを図りました。

時間・場所	テーマ・内容
7/28（火） 10:30－12:30 受講者：職員 5 名	職員研修「希望が丘駅周辺における人・まちづくりの推進に関する調査報告書から読み解く地域支援」 講師／市民セクターよこはま　事務局長　吉原明香

- 活動団体、地域住民の方と一緒に学ぶ研修【知っておきたいシリーズ】を開催し、共に学びながら基礎知識を高め、スキルアップにつながる機会を創りました。今年度は「傾聴」「救急救命」を取り上げました。感染拡大防止の観点からソーシャルディスタンスを保ち受講人数を限定しました。
- 第 3 回は地域の医療機関による「こころのクリニック」を予定していましたが、コロナ感染拡大のため開催できませんでした。

【知っておきたいシリーズ】

時間・場所・参加者	テーマ・内容
12/10（金） 13:00－15:00 @にしとも広場 受講者数：13 名	『傾聴』～こころを聴いてみる～ 講師：NPO 法人アーモンドコミュニティネットワーク 理事長　水谷裕子さん 丁寧にその人に向き合い、しっかりと話を聴き、相手を深く理解すること、自分自身の心の変化も含め、傾聴の基礎を学びました。 講座終了後、学びを深めたいと自主企画のグループが生まれました。
1/11（火） 13:00－15:00 @にしとも広場 受講者数：11 名	『いざという時役立つ　救急救命』 講師：一般社団法人 EMR　河波弘晃さん 感染予防を行いながら、基本的な心肺蘇生法や、AED（自動体外式除細動器）の操作を学び、感染予防の基礎、緊急時の対応について実例を通し具体的に学びました。

〈　傾聴講座　〉

〈　救急救命講座　〉

2．情報提供・発信事業

◆様々な情報提供のツールを使い、定期的、多面的に情報を発信

昨年度に引き続き、当センターの持つ情報や当センターの周知をさらに促すために、3 つの紙媒体を活用しました。また、日常のお知らせについて、フェイスブックとホームページを併せて活用しました。

1）　情報紙『にしとも広場』（カラー冊子・全 8P）の発行

- 年 2 回（9 月　3,500 部　2 月　3,500 部）を発行しました。
- 各号、西区で活動をしている方、これから活動を行いたい方に、テーマごとに集まっていただき、活動の原点や想いについて話し合いました。互いの活動を見学し、コラボレーションの機会を検討することで、活動者同士がつながりあう場となりました。

＜特集内容＞

●第 18 号：「つながりはひろがる」

「馬」と「食」の 2 つのテーマを設け、それぞれのテーマごとに対談を行い、互いの活動先を見学しました。連動企画として、「この人の話をきいてみたい！」座談会を企画し、掲載者に直接会い、話をきき、つながりをさらに広げる機会となりました。

時間・参加者	テーマ・内容
11/7（日） 13:30－15:30 参加者：17 名 （掲載者 6 名含む）	**「この人の話をきいてみたい！」座談会** プログラム ●掲載者の活動紹介、参加者の自己紹介 ●フリートーク アンケートより ・集まられた方が皆さん自然体でお話ししてくださってとても参考になりました。 ・どのようなお話しか、自分に何ができるのかと思いながら参加させていただきました。

●第 19 号：「好きな世界からつながる　まちのアート作家 5 人の出会い」

西区内でアートの活動をする方に集まりいただき、互いの活動紹介やアート活動を通じて目指していることについて話し合いました。次年度の 4 月・5 月の企画へとつながりました。

時間・場所	テーマ・内容
（予定） 2022 年 4 月 23 日～ 5 月 21 日	にしとも広場のカベに鯉のぼりをつくろう！／4 月 23 日(土)～5 月 21 日(土) はっぱのトートバックをつくろう／4 月 29 日(金・祝) 10 時～11 時半 葉っぱと粘土で飾る　オリジナルフレーム／4 月 30 日(土) 10 時～12 時 ヒンメリ花飾り／5 月 5 日(木) 14 時～15 時半 オリジナルマグカップ&お花をいけよう／5 月 7 日(土)①10 時～11 時②12 時～13 時

〈 18 号 〉

〈18 号連動企画 〉

〈 19 号 〉

〈 19 号連動企画 〉

2） 簡易版情報紙『にしとも広場 mini』（カラーＡ4 両面印刷）の発行

- 表面にはトピック・お知らせ、西区街の名人達人の「来て見て聞いての日」を、裏面にはにしとも広場のイベントカレンダーや自主事業の活動などを掲載し、年 4 回(5 月、9 月、12 月、3 月)発行しました。
- 写真やイラストなどを効果的に使用し、分かりやすく、インパクトのある紙面づくりに努めました。

〈 19 号 〉

〈 20 号 〉

〈 21 号 〉

〈 22 号 〉

3）フェイスブックでの情報発信

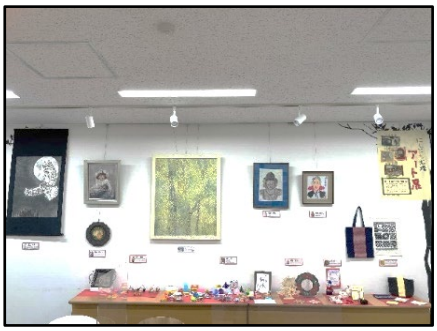
- わかりやすいテーマの事業については、Facebook 広告を利用することで、集客につなげました。
- フェイスブックページへの「いいね」数：
  729 件　2022/3/31（参考：534 件　2021/3/31）

4）ホームページでの情報発信

- 地域やにしとも広場で開催されるイベント情報やボランティア募集情報などの情報発信を行いました。
- 『にしとも広場 mini』など紙媒体では、Ｑ Ｒコードを掲載し、ホームページの存在をアピールし、フェイスブックと連動させるなど、ホームページへの誘導を行いました。また、イベントページについては、気軽に申し込みいただけるよう、ホームページの申し込みフォームを毎回設定しました。

5）にしとも広場アート展

- 11/1～11/26 の約 1 か月間、にしとも広場ミーティングスペースにおいて、アート展を開催しました。登録団体によびかけたところ、16 団体が参加し、アンケート回答者には寄付作品をくじ引きでプレゼントし、130 名の方にご回答いただきました。
- 出展作品：水墨画、油絵、こぎん刺し、おりがみ、写真展示「横浜を探せ」 等



６）展示スペースの活用

- 西区街の名人・達人の登録者の「プロフィール写真会」を実施し、撮影したプロフィール写真を一定期間展示しました。
- 季節にあわせた飾りを展示しました。施設利用者が飾りづくりに参加し、皆で作り上げる展示となりました。
- 季節に合わせたパッチワークなど、得意なことを活かした展示に協力いただきました。
- 障がい者施設の方が毎月持ってきてくださる作品も、ご本人了承のもと展示しました。

７）他機関・施設による外部メディアの利用

- 記者からの取材先紹介依頼への対応や、登録団体の自主企画などの紹介を行いました。
- 団体 mini 交流会に、広報活動のゲストスピーカーを依頼し、その交流会の中で活動についての紹介動画作成となり配信されました。

掲載いただいた外部メディア等

- ●広報よこはま
- ●タウンニュース・YCV・はまかぜ新聞
- ●横浜市協働推進センターメルマガ
- ●西区内施設へのチラシの持参、配架依頼

３．活動団体のマネジメント支援および、ネットワーク支援事業

＜１＞　地域人材ボランティア事業『西区街の名人・達人』

１）新規登録の促進

- 活動披露の場等を通じて当事業の周知を行い、地域人材ボランティアとして活動を始めるきっかけを創りました。
- 活動自粛の中でも機会を見つけ新規登録の呼びかけを行い、活動の活性化や地域の方々の選択の幅が広がるよう支援しました。
- 活動自粛が続く中でも、地域に貢献したいと、人材ボランティア登録の希望がありました。

  ◇西区街の名人・達人登録数　151 件（2022 年 3 月末現在。昨年同月 143 件）

2)『西区街の名人・達人』のコーディネート

- 非常事態宣言の発令などでイベント等も激減し、活動そのものの自粛が続きましたが、小学校総合学習の講師、地域訓練会でのマジック、みなとみらい自治会での新春コンサートなど、活動の場の拡がりを支援しました。

・ コーディネートの相談があった際は、単なるコーディネートにとどまらず、相手のニーズに加え、実施環境（場所・施設）についても丁寧なヒアリング、安心して活動ができるよう心掛けました。

◇コーディネート数　29 件（2022 年 3 月末現在。昨年同月 9 件）

3）『西区街の名人・達人』の活動披露の場づくり

●音楽関係については「音楽の日」や「来て・見て・聞いての日」の出張コンサートなど、活動を披露する場を計画していましたが、コロナ禍で歌うことや演奏が難しく、今年度は開催できませんでした。

●「うたごえ広場」（オンライン）

会場で一緒に歌うことが難しいため、わかりやすいように歌詞をつけ YouTube 配信を行いました（9/20）。また、1/17 は、第 4 地区会館をサテライトとして結び、地域の皆さんも楽しむ予定でしたが、感染拡大防止のため中止となりました。

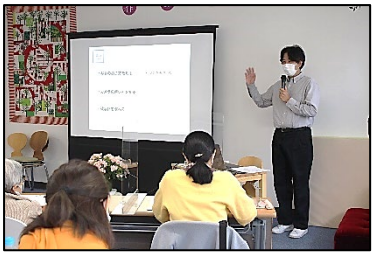
●「来て・見て・聞いての日」

感染拡大防止運営基準を反映し、利用定員は 10 名を上限としました。オンライン開催が難しいものも多く、参加希望が多い企画については、講師と相談の上、複数回の開催や別会場を準備するなど、参加の機会を増やし対応しました。

日付	イベント名	人数
4/10	スマホフォト講座	10名
5/22	エンディングノート	9名
6/25	大人のバレエストレッチ	9名
7/24	子ども科学捜査①	10名
7/24	子ども科学捜査②	10名
8/1	食べ物のゆくえと体のしくみ	10名
9/18	心と体の楽しい健康ストレッチ（台風のため中止）	0名
9/19	子ども工作教室（緊急事態宣言発出中止）	0名
10/14	体をほぐすヨガ	6名
11/19	干支の年賀状～寅～	10名

日付	イベント名	人数
12/4	クリスマススワッグを作ろう	14名
12/4	クリスマスリースを作ろう	17名
12/5	干支の年賀状～寅～	9名
1/15	常磐津節三味線	29名
2/5	スマートフォン講座	16名
3/12	親子で楽しむ！ペンシルバルーン	24名

参加者：183 名（2022.3）


スマホフォト講座

子ども科学捜査

クリスマススワッグ

ペンシルバルーン

大人のバレエ

常磐津節三味線

干支の年賀状

4）『西区街の名人・達人』のホームページ掲載情報の更新

・ 新規で登録があった時は、速やかにホームページの検索データベースに追加するとともに、ホームページでも紹介しました。

5）『西区街の名人・達人』ガイドブックの活用

・ PTA や町内会などの新たな役員の方には、説明と共にガイドブックを配布し、登録者の活動について周知を行いました。

・ 各小学校へ配布したガイドブックを通じて、小学校総合学での講師依頼があり、地域振興課と連携し、コーディネートを行いました。

6）『音楽ボランティア講座』を開催

音楽ボランティア活動者の「ノウハウを伝えたい、つながりをつくりたい」という思いを、共催という形で実現しました。「基礎編」「活動編」「実践編」の全 3 回の講座を行い、15 名の方が修了しました。
講座終了後は、地域デビューに向けての伴走支援を行いました。

	プログラム	講師	内容等
9/11	導入編	一座にしエイチファイブ・竹下幸子氏（プラチナ倶楽部）	音楽ボランティアについての基礎を学ぶ
10/3	活動編	一座にしエイチファイブ、フルール、La seed	活動団体事例から活動の実際を学ぶ
11/6	実践編	一座にしエイチファイブ・オオノシン氏（にしく名達の会）	３グループによる演奏披露
12/8～5/14	デビュー＆活動サポートプログラム	一座にしエイチファイブ	自主グループを作り、コンサートデビューするまでのサポート

＜2＞　登録団体

1）登録の呼びかけと活動支援

・ 活動自粛が続く中、団体活動の現状や必要なニーズを把握し、今後の活動が、より潤滑で広がりをもつよう支援を心掛けました。

・ 掲示板にお知らせ欄を作成し、登録している団体のイベントを掲示、来館の方へ紹介し周知を行いました。

・ にしとも広場を会場として定期的に行う自主企画の活動の一覧や、月ごとの活動日が一目でわかるようカレンダー形式で紙面を作成するなどの工夫をしました。

・ その結果、今年度の新規登録団体数は 14 件となりました。（昨年度新規登録件数　1 件）

◇団体登録数　184 件（2022 年 3 月末現在。昨年同月 197 件）

※登録更新結果は 2021 年 4 月に反映：更新後の登録団体 170 件

2）団体のステップアップにつながる講座の開催

・ 活動の情報発信につながる講座「届けたい人に伝わる、活動発信のコツ」、「みんなどうしてる？SNS の活用」を西区街の名人達人＆登録団体の mini 交流会に合わせて開催しました。

3）登録更新/ガイドブックの発行

- コロナ禍のため、更新にあたっての直接のヒアリングは難しく、現在の活動状況やにしとも広場へのご要望などを近況報告書でお知らせいただきました。必要に応じ、追加の聴き取りなどを行い状況を確認し、内容によっては相談対応を行いました。（2020 年/12~1 月実施）
- 「西区グループ・団体ガイドブック」を発行し、活動団体の周知、来館者への相談対応にも活用しました。
- ホームページに更新した登録情報を掲示し、活動紹介や周知に活用しました。

4）西区街の名人達人&登録団体　mini 交流会(2 回)、交流会

- 活動の自粛が続く中、団体の交流会とはかるとともに、パワーアップにつながる活動のヒントや工夫を共有しました。12 月・3 月はオンラインで実施としたため、普段にしとも広場を利用する機会が少ない方も参加いただき、新しいつながりや展開のきっかけとなりました。

時間・場所・参加者	テーマ・内容
9/4（土） 13:30－15:30 参加者：19 名	mini 交流会 「届けたい人に伝わる、活動発信のコツ」 活動を広げるための情報発信について、タウンニュース、ケーブルビジョンのお二人との交流を通じて、理解を深めました。 ゲスト：（株）タウンニュース社　横浜中央支社 中区・西区編集室　清田義知さん 横浜ケーブルビジョン株式会社 コンテンツ部　制作・情報チーム　元波玲子さん
12/17（日） 14:00－16:00 参加者：７名 オンライン	mini 交流会「みんなどうしてる？ SNS の活用」 SNS を活用して、仲間を増やし、交流を広げる工夫について、NPO 法人 icocca（港南区）の取り組みから学び、情報交換を行いました。 ゲスト：NPO 法人 icocca（いこっか）　鳥海 さん ・池田さん
3/27 （日） 14:00－16:30 参加者：22 名 オンライン	「にしとも広場春の！大交流会」 ・西区役所、にしとも広場からの事業紹介、参加者自己紹介ののち、少人数のグループに分かれて交流を行いました。 ・対象を西区グループ・団体、西区街の名人・達人に加え、西区地域づくり大学校修了生、音楽ボランティア講座修了生にも案内を行いました。 ・グループワークのテーマ：「2021 年活動で取り組んだことのなかで良かったこと、つながったこと」「2022 年活動でやってみたい事・チャレンジしたいこと」

＜3＞ 西区スタイルへの参加

- 感染拡大防止対策のため、西区民まつりは中止となり、今年度は「西区スタイル」（2021 年 12/13～2022 年 1/28）に協力、参加しました。
- ブース出店（1/17（月））

・ 期間中広報資料配布、139 セット アンケート実施 回答 112 名
・ にしとも広場ではくじ引きを実施し、西区内の作業所で制作されているクッキーや居場所で販売している菓子を景品としました。

4． 地域支援事業

◆ 地域で活躍する人材の掘り起こしと養成

当センターに来館される「何かをしたい」「何ができるだろうか」「活動したいがどうしたらよいかわからない」というような思いを活動につなげるきっかけづくりをし、地域での活躍を促しました。

1）講座「わたしのいるまちで地域仲間をつくろう！」

日頃のつながりが防災につながること、安心できるなじみの場が身近にあること、西区での暮らしについて考える講座を実施しました。

日時・場所・参加者	内容
9/12（日） 10:00－12:00 @にしとも広場 参加者数：17 名 （会場８名・オンライン９名）	講師：ＮＰＯ法人孫育て・ニッポン理事長 ぼうだあきこ氏 内容： ■講義 ■クロストークタイム 「どんな地域仲間をつくりたい？地域仲間を増やすために何をしてる？」

<アンケートより>

・ 子育て支援、みんなのサロンを開いているが、自分が楽しんでやっている活動を楽しみながら他の団体とのつながりを大切にしている。わたしは違っていなかったと思った。良いお話しを聞くことができた。
・ 自分の経験、スキルを活用し、仲間をつくり、自分のできること、できないことを仲間にきちんと伝え、協力できる環境をつくりたい。もう少し近所の方々に頼りたいと思った。
・ 人が生きている中で、年を重ね、社会とのかかわり方がことなることを表でわかりやすくあらわされていて、できることの内容やその時の気持ちなど面白くお話しされたところがよかった。

2） 講座「住んでいるまちで〇〇〇の活動を始めよう」

場づくりの基本的な考え方について学び、活動を行っていくうえでの情報発信の方法や助成金等の活用の考え方について学びました。後半の交流タイムでは、既に活動を行っている方と、これから地域活動を始めたい方が意見交換を行うことで、つながりが広がりました。

日時・場所	内容
1/29（土） 13:30－16:30 @にしとも広場 受講者数：　21 名 （会場　5名、オンライン　16名）	講師：NPO 法人れんげ舎　代表理事 長田英史氏

<アンケートより>

- 個人で考えて文書にするとアイディアが広がりすぎることがあるが、講座で書いた内容はポイントが明確なため参考になった。
- 一年間地域づくりを活動してきて色んな方と知り合い、議論を重ねて来た中で出てきた課題を解決に近づけるヒントとして、参考になったことを振り返ることができた。
- 準備、振り返りの見直し。ほかの人もしっかり巻き込み、場が独りよがりになっていないか磨きこむチャレンジすることが印象に残った。また、個人的に紙媒体での発信も考えてみたい。

3) 「第 10 期西区地域づくり大学校」

- 本講座は、①講座後もつづく仲間づくり、②少人数制の連続講座、③講座終了後も“にしとも広場”が継続的に受講生を応援することを特徴とし、全４回を区政推進課と協働で開催しました。
- 新型コロナウイルス感染症による生活様式の変容により、住んでいる身近な地域に目を向けている方が増えていることを背景に、テーマは「仲間と出会って地域のつながりづくり」としました。
- 定員 15 名としましたが、20 代から 70 代と、幅広い年代の 14 名にご参加いただきました。
（内訳：20 代 1 名、30 代 1 名、40 代 5 名、50 代 5 名、60 代 1 名、70 代 1 名）
- 講座終了後は区役所と連携し、丁寧なフォローアップ・コーディネートを心掛けました。その結果、にしとも広場を利用した自主企画化や、既存活動団体への参加、地域の学校施設のボランティア活動等につながりました。

	日時・場所	テーマ・内容
1	10/23（土） 13:30～16:30 @にしとも広場・オンライン 受講者数：13 名	『テーマ：にしくについて知ろう・今のくらしトーク』 ・オープニング（開講の挨拶：寺岡洋志（西区役所区長）、受講生自己紹介、ガイダンス） ・講義：「西区のまちについて」 西区役所区政推進課　課長　鈴木慶 ・講義：「地域で活動をはじめよう！」 認定 NPO 法人市民セクターよこはま　事務局長　吉原明香 ・分かち合いワーク
2	11/21（日） A コース：４名 11/28（日） B コース：５名 C コース：４名	『歩いて知る！まちの魅力再発見』 A コース　訪問場所 ディアナ横濱　、ふれあい広場　フードパントリー、NPO 法人 Umi のいえ　、西公会堂　（ふりーサロン５） B コース　訪問場所 CASACO、　野毛山荘、　第４地区社協 C コース　訪問場所 藤棚地域ケアプラザ、　藤棚地区センター、　藤棚デパートメント
3	12/11（土） 13:30～16:00 @にしとも広場 受講者数：13 名	『テーマ：プランの実行に向けて準備しよう』 ・グループワーク：「チャレンジプランを磨こう」 ・希望者個別相談会 ・全体共有
4	2/5(土) 13:30～16:00 @にしとも広場 受講者数：13 名	『テーマ：プランの振り返り＆これからのつながりづくり」 ・チャレンジプラン実践報告会 ・講義「受講生へのメッセージ：これからの活動に向けて」 ・修了式 **★修了者　14 名**

<アンケートより>平均点　84 点（100 点満点中）

- LINE グループができ、そこで、チャレンジプラン実現に向け協力体制ができたのが良かった。
- 色々な活動や支援、ボランティアなど地域にいっぱいある事を知った。色々な思いを抱えて活動をされたり、活動をバックアップして頂ける場があることもわかった。
- 「自分が楽しむ」凄く大切だと思った。
- 具体的にプラン化、明文化する事により、アイディアがより具体的になった。

4）外国につながる子ども対象　にしともるーむ

2018 年度事業「日本語・学習支援ボランティア養成講座」の修了生が中心となり、2018 年 9 月より学習支援教室「にしともるーむ」を開催しています。
（毎週火曜日 16:00～17:00 実施）
様々な国につながる子ども 8 名程度の小学生が通い、ボランティアの方と

マンツーマンで、宿題など自分に必要な勉強をしました。
2021/4～2022/3　実施回数　47　回

5）好きなもん広場

西区で暮らす人や働く人の「好きなこと」「やりたいこと」「活動していること」をきっかけに、新しい出会いが広がることを目的として、参加者同士の対話を中心に毎月１回テーマを設け、実施しました（毎回１時間程度）。

日程	プログラム	参加人数
5/14	西区の好きなお店	5人
6/12	集まれ！絵本好き	6人
7/9	集まれ！歴史好き　鉄道編	5人
10/9	想いのある地について話そう	4人
11/12	子どもとお出かけスポット	0人
12/17	集まれ！風呂敷好き	4人
1/22	集まれ！特撮好き	5人
2/11	話そう！毎日の栄養・体の健康	5人

6）意見交換会の実施

自治会町内会、センター利用者、地域人材ボランティア、区内関連施設などの方々にお集まりいただき、当センターの事業や役割について、また地域にある課題やニーズについてなど意見交換をしました。

日時・場所	参加者
1/25（火） 16:00－17:30 @にしとも広場 会場参加　５名 オンライン参加　４名	（以下９名） 西区第五地区自治会連合会　会長　　平野　周二さん（Zoom） 西区第四地区社協　会長　　米岡　美智枝さん 藤棚一番街協同組合　理事（今井かまぼこ店）　　今井　宏之さん（Zoom） 西区在宅介護者のつどいあけぼの会　代表　　竹下　淳子さん にしく名・達の会　会長　　服部　和男さん NPO 法人西区はーとの会　理事長　　三宅　義子さん 生活創造空間にし　施設長　　阿部　浩之さん（Zoom） 西区子育て支援拠点　スマイルポート　　森内恵さん（Zoom）

＜ご意見より＞

- Zoom を使って、にしとも広場の講座をサテライトスタジオとして聞くことができ、恩恵を受けている。地域大で見学に来た方がボランティアで手伝ってくれている。 こうしたつながりが嬉しい。
- にしともから生活支援センター西につながり、家族会につながったのを見て、本当によかったと思った。
- コロナで食事会ができなくなって残念だが、にしとも広場での出会いがあり、活動に参加してくれる若い方ができた。にしとも広場はかけこみ寺みたいな存在。

- コロナの中でも工夫して運営されていたのに驚いた。自施設の研修も限られた人だけでなく、にしとも広場の関係者も引き込んでいきたい。
- コロナは考え直すチャンスで、新しいことに挑戦する機会にもなったが、そう考えられる人がいるかいないか、町内会で温度差、活動の差が出てきたと思う。
- 商店街でも変化は絶え間なく起こっていて、長い時間軸で見ていかないといけない。
- 多世代の交流は、長期スパンでみても重要。にしとも広場の企画を楽しみにしている。
- 地域大にオブザーブ参加し、子育てに関する数名の方とつながれた。西区は子育て世代がかなり多いが、支える中高年が少ない。子育てサポートシステムの提供会員も少ない。にしとも広場と一緒に考えていきたい。
- 安心、安全なまちづくりのための防災減災の講座なども一緒にやっていきたい。

5．区・区民利用施設等との連携事業

1）区民利用施設等との連携会議の実施（年１回）

地区センターやコミュニティハウスなど、情報共有の機会を持ちにくい施設もあるため、西区全施設が集う本会議は、貴重な情報提供・共有の場となっています。今年度は、地域に密着しているケアプラザを中心に地域の状況、課題、ニーズを共有し、地域に向けてできることを考える機会としました。

日時・場所	内容
1/18（火） 第 1 回／13:00～14:45 戸部本町 CP・宮崎 CP 第 2 回／15:00～16:45 藤棚 CP・浅間台 CP @にしとも広場 出席 第 1 回:14 施設・課 17 名 第 2 回:18 施設・課 21 名 欠席 1 施設（所属法人の会合出席停止指示のため）	西区にこまちプランの課題認識共有 ・各 CP が捉える地域の課題、社会資源、取り組み ・できること、連携したらよさそう（フリーディスカッション） 【意見】 〇地域支援のエリアやその地域毎の特徴、日々のご苦労など伺い、大変勉強になった。 〇おでかけ 3 について、宮崎ケアプラが、3 地区ではないけど急坂の地域でも欲しい、路線延長しない？と言ってくれたのがよかった。他のケアプラザの動きや地域のこともわかったのがよかった。 〇地域・エリアの話やケアプラザの事情や、福祉系施設と市民利用施設で得られる情報ソースやラインが違うことよく分かった。連携してできることもあるだろうし、発展的に考えて行けたらよい。 〇ケアプラザの方の活動をあまり知らなかったり、他地区の具体的な情報も少なかったため、今回の会議は大変参考になった。 〇「利用者にエリアはなく」施設側の意識改革も必要と思った。それに加えて、それぞれの地区内の情報や課題を抽出する事も必要不可欠な事と思うので、近隣地区同士の情報交換の機会も多少あったらよい。 〇図書館では、地域の情報を直接得る機会が少ないので、今回の会議は大変参考になった。皆さんの話をききながら、図書館ももっと地域と関わること、地域の情報を持つことが必要だと感じた。

2）センター事業における区内施設等との連携

●生活支援センターにし　との連携

『リカバリープログラム』として、生活支援センターにしの利用者の方に登壇していただく講座を開催しました。精神障がいの方の思いを知る機会と共に、利用者の方にとっては登壇することで自身の自信やステップアップにつながり、双方にとって開催意味のある講座となりました。今年度は家族会の方もディスカッションに参加され、当事者だけでなく家族の想いを知る機会ともなりました。

日時・場所	内容
11 月 27 日（土） 13:30～15:30 参加者：16 名 （会場　10名、オンライン　6名）	参加者：生活支援センター西　利用者、 精神障害者家族会　もみじ会 当事者、支援者、地域の方

3）地域振興課が実施する生涯学習・市民活動支援講座　運営支援

●地域振興課主催「スマホサポーター養成講座」

- にしとも広場に度々よせられる「スマホの使い方教えてほしい」ご要望を共有し、さらに施設訪問にて、地域でもニーズがあることを確認しました。
- 企画段階から都度連携し、プログラム作成に進みました。
- 広報、周知を連携して進めました。
- 講座 1 日目に、ボランティアの意味・心構えや、サポーターとなった後の活動場所等を話し、受講者の具体的な活動イメージにつなげました。

6．施設環境への取り組み

◆ つながり・活動を育む、居心地の良い場へ

今年度は各地で出向ける場所が少なくなり、「行ける場所」の情報を探しに来られる方もみられました。感染症対策をしっかり実施し、安心して立ち寄れる、ホッとする場所になるよう努めました。

ソーシャルディスタンスを保つため自ずと少人数開催になりますが、地域づくり大学校の参加者がにしとも広場を使ってミニイベントを開催したり、他施設で活動していた方が当センターでも講座を定例開催するようになったり、オンライン環境を活用して中継としたりと、活用の幅が広がりました。これまで以上に丁寧な対応や適切な情報提供、温かな場づくりを心掛け、「とりあえずにしとも広場に行ってみよう」、そう感じていただけるような、つながり・活動を育む場となるよう工夫しました。

1）　誰もが立ち寄りたくなる場づくり

- 参加者同士が知り合える、何となく仲良くなれるきっかけづくりを心掛けました。
- 地域人材ボランティアバンクの登録者の発表の場としても活用しました。

2）　居心地の良い環境づくり

- 配架しているチラシの中から、おススメ情報をピックアップして、入り口の掲示板に貼り出しました。
- センターに立ち寄られた方に、センターを利用しての活動を積極的に呼び掛けました。

3） 施設内安全への配慮

- チラシ配架のラックの状態や、掲示物については画鋲が取れていないかなどを確認しました。
- 月に 2 回、日を定めて設備や機材を点検し、安心して利用できる環境とし、事故を未然に防止しました。
- ウィルス感染防止対策として、手指消毒を常備、検温、来館者カード、利用者用のアクリルボードの設置を実施しました。利用後は机等のアルコール消毒を行いました。

7. 職員配置体制・資質向上への取り組み

◆日頃からのコミュニケーションを大切に

職員個々のモチベーションはセンターの雰囲気にも影響します。日頃からのコミュニケーションを丁寧に行うことは、職員間の人間関係や、センターの雰囲気づくりや居心地のよさにつながると考えます。今年度も参加できる研修は少なくなりましたが、オンライン研修など、内外の研修に積極的に参加し、スキルアップと新しい視点を取り入れるよう努力しました。

1）現場訪問

- 今年度も訪問できる機会は少なくなりましたが、可能な限り、市民活動や地域活動の現場に出向きました。
- これらを職員間で共有する機会を設け、相談対応力やコーディネート力のアップにつながるよう努力しました。

2）相談力向上に向けた研修の実施（2 ページに掲載）

3）防災・減災、防犯、個人情報保護などに対応した研修の実施

- 利用者がいる場合の地震や火災などの緊急時の対応や不審者が来た場合の対応を、職員会議等を通し学びました。
- 個人情報保護に関する研修を全職員参加で実施し、さらに、日々の業務の中における情報漏えいを起こさない仕組みを全員会議で点検しました。
- AED や心肺蘇生法の研修を実施し、救急救命の基本を再確認しました。
- 西区総務課より、西区の災害発生時の区役所の役割や取り組み、防災に関する地域の状況など学ぶ機会を持ちました。

4）他区の区版支援センターとの情報交換および交流、研修への参加

- 横浜市市民協働推進センターが実施するネットワーク会議に参加し、他地域の先進事例を学びあい、積極的に情報交換を行いました。
- 相鉄沿線 6 区市民活動支援センター会議（年 1 回開催）は、今年度は中止となりました。

5）外部研修への参加

- 各職員が、自主的に、自らの成長に必要と考える研修に参加しました。
- オンライン開催の講座に積極的に参加し、オンラインならではの留意点や、進行方法などを学びました。

参加研修（抜粋）

開催日	研修名	主催等
6/3(木)	中学生、高校生、大学生それぞれのまちづくり	野毛坂グローカル
6/4（金）	「市民活動のための『法人格』研究セミナー	大阪ボランティア協会
8/8(日)	認知症サポーター養成講座　（オンライン開催）	港北区キャラバン・メイト　本間氏
8/28(土)	参加の場の開き方	横浜市市民協働推進センター
10/13（木）	地域共生社会の実現に向けて	横浜市西区役所福祉保健課
10/13（木）	若者をつなぎ　まちを盛り上げるツボ	横浜市社会福祉協議会
12/17（金）	人材バンク事業活性化のための関係職員研修	横浜市社会教育コーナー

8. 西区役所との協働

1）定例会議でお互いの成果や課題を丁寧に共有

・ 定例会議を月１回実施するほか、日常的にお互いの事業やそれに関わる情報を共有しました。

2）協働契約書を締結し、センターの事業目的の共有と双方の強みを活かした運営の実現

・ 区役所と民間である当法人が協働で事業運営に取り組むことで、双方の強みを生かし、相乗効果が得られるような運営としました。

・ 地域振興課、区政推進課、当センターの３者で、次年度の各課の担当事業や役割、当センターの事業展開に関する方向性などを話し合いました。

3）センター運営に関する協働のふりかえりの実施

・ 年度終了後に、「協働に関する相互検証シート」をお互いに作成し、にしとも広場の運営を協働で取り組んだことに関してふりかえりを行いました。

以上